



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 森山信三
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

10月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】カトリック大学
【宣教】世界宣教の日
【日本の教会】聖性への招きにこたえる

「召命の家」(旧小神学校) 来夏「司祭の家」として誕生予定



生活・司祭の生涯養成を立ち上げた。

宮原司教は、福岡教区長に
着座した2008年に3つの
小委員会(司祭召命・司祭の

ドミニコ宮原良治司教
司教叙階10周年と霊名を祝う



8月4日(水)、
カテドラル大名町
教会で宮原司教の
霊名と司教叙階10
周年を祝う感謝ミ
サが開かれた。
平日にもかか

りがある。宮崎県への支援
など困難する人々との交わ
り、これらの交わりが世の
光、地の塩となる。本もの
の教会になるために互いの
交わりを心を込めて祈りま
しょう」と話した。

司教は「教会は
交わり、一致のし
るし」、「司祭同士
の親しい交わりを
見る信徒の交わり
がある。

また、社会的交
わりは国境、宗教、
人種を超えた交わ



教区司祭評議会 各種委員会を精査

9月14日、本年度第3回司
祭評議会が開催された。
まず教区の役職、役務の現
状の確認と今後のあり方につ
いて討議された。とくに各種
委員会について、担当司祭が
任命されているが、委員会と
して実際に機能しているもの
もあれば、単に名前だけで実
体のないもの、あるいは現実
に機能しているのに委員会と
して明記されていないもの
(司祭召命、司祭の生活、司

祭、40人の司祭、
350人ほどの信
徒や修道者が集っ
た。

場所、召命の家(旧小神
学校)を解体し、その跡地に
建てられる。工期日程は10月
に解体、11月着工、来年7月
には竣工の予定である。

福岡教区信徒協が研修会



9月20日、教区信徒協は、
「教会に明日はあるかパート
II」と題してカテドラル大名
町教会におよそ100人を集
めて研修会を開催した。
冒頭「4つの視点から教会
を考える」ということで発題
があった。第1のテーマは
「若者にとって教会は頼れる
ところか」、第2は「小教区
で福音宣教のための予算はあ
るか」、第3に「ナイス以降

祭の生涯養成委員会など)を
整理の必要ありとして、小委
員会にて、次回までに精査す
ることになった。
次に、小教区の宣教司牧の
現状認識について各地区から
の報告があった。小教区にお
ける人の養成など、本質的な
ことが先送りになり、行事消
化型の教会に偏りがちな小教
区の現状に再考を促すような
提案がなされた。
また、社会の福音化や滞日
外国人に対して消極的姿勢な
ど、カトリック教会の内向き
の体質を変えていく必要性な

時の話題

麻生 泰

見渡せば社会問題が山積
しています。世界の中でこ
れほど恵まれている日本で
ありながら、問題を表に出
せずに悩みを抱え込んでい
る個人や
家族も相
当数に上
ると思わ
れます。
自殺者、
虐待の数
は減少傾
向にあると
は聞かないし、周りの国々
と比べて明らかに恵まれた
国に居ながら、不平、不満、
要求の声ばかりが聞こえて
きます。そうした中で私た
ち信者や教会、カトリック

学校が果たすべき役割は大
きいものと考えます。
ただ心をこめてお祈りする
だけでなく、これまで以上の
思いのこもった行動が求めら
れていると思います。自分自
身はこれまで具体的な活動を
何もしていませんが、「悪い
ことはしていないし、毎日お
祈りは欠かしていません」と
いうだけでは十分ではなく、
それに加えて、この大きく変
化している時代においてカト
リック信者や教会、その他団
体の役割は、社会が抱える多
くの問題に対して、新たな活
動が必要とされているのでは
ないかと思えます。そして努
力した結果が良い成果として
見えてくるような活動でなく

てはなりません。
主が天から見られていて
喜んで応援して下さいそう
な温かい活動の輪を広げ、
新しいテーマを探し、工夫
していく中で、悩む多い人
たちへの役立ちをしていき
たいと思います。主の思い
を考えると、この世で私た
ちの仕事は数多く残されて
います。
現役の信者として、与え
られた一度の自分の人生
に、もつと役立ちへの動き
と成果を出していきける活
動をして行きたいと思ってい
ます。

福岡雙葉学園 理事長
飯塚教会信徒

の私たちの教区、教会は?」
第4に「外国人にとって教会
は頼れるところか」とそれぞ
れの立場から鋭い指摘がなさ
れた。特に2番目の発題者、
目良豊氏(大名町教会の「信
徒の献金が、教会の維持管理
のために使われ、現代社会に
疲れ、救いを求めている人の
ために使われていないのでは
ないか、もしそうなら教会と
は私たちにどうして何なのか」
という指摘、また4番目の岩
本光弘氏(水巻教会)の外国
籍のカトリック信者にとって

どが語られた。
司教より、召命の家(旧小
神学校)解体に伴い、小神学
校を巣立った司祭あるいは関
わった修道者、信徒のため、
何らかの形で感謝の集いをす
るよう要請があり、期日を
検討の上、秋に行なうこと
になった。
また、現教皇の意向による
今年の「待降節開始前夜の祈
り」の対応について、また、
教会方の改正と追加につい
て、司祭人事についての報告、
説明などが行われた。

宮崎県知事から礼状

宮崎県の東国原英夫知
事から「カトリック福岡
教区様」宛に、口蹄
疫被害義援金へのお礼
状が届きました。
福岡教区事務所

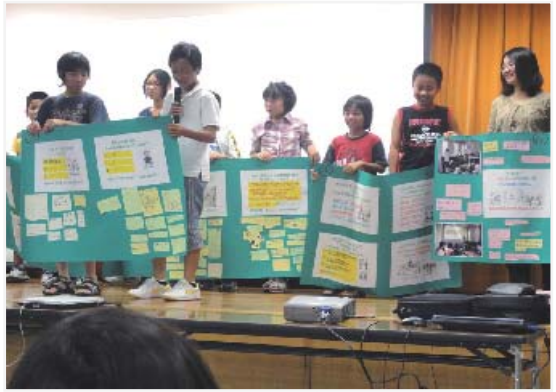
司祭人事

◇任命
*エキユメニズム担当ⅡG・
ミシエル神父(箱崎教会)
◇辞令
*手取教会協力司祭Ⅱデンニ
ワユディ神父(聖ザベリオ
宣教会)

電車や地下鉄、バスなどに乗
ると、以前はよくケータイの
着信音があちこちから鳴り、
会話が始まっていた。とても
迷惑に思っていたが、幸い
にも最近はほとんどなくなっ
た。そのかわりに多くの人々
がケータイのディスプレイと
にらめっこして、指を
せわしく動かしており、小
説や雑誌を読んでいる人が少
なくなつたように思う▼ケー
タイをもっている中学生の
1・2割が1日3時間メール
をしているという統計が発表
され、驚いた。メールが来た
ら、出来る限り即座に返信す
る。さもないと不審に思われ
たり、互いの関係に亀裂が入
るといのである。こうなる
とほとんどケータイ依存病と
いうことであろうか▼確かに
メールは便利である。相手の
都合に関係なく、こちらの意
志を伝えておくことが出来
る。事務的なことならそれで
よからう。しかし、通常の会
話や、大切な用件などもすべ
てメールで済まされてしま
うなら、血の通った人間関係は
薄れていくばかりではなく、
機械的な関わりとなるのでは
ないか。人は、相手の顔色を
見、声を聞き、表情や小さな
仕草の中に、その人の真実が
表れたりする。そう考えると、
電子だけでつながっている関
係には、相手の思いや感情を
推し量ることが出来なくな
るのではないかと危惧す
る▼み言葉を伝える教会も、
まず私たち一人一人がキリス
トとの人格的出会いを深めて
いることが前提であろう。そ
のキリストとの交わりなしに
福音は伝えられない。「もし、
言葉に沈黙の背景がなければ、
言葉は深さを失ってしま
うだろう。」(M・ピカート)

教区各地で子どもが主役の平和の集い

福岡地区は各教会学校の平和授業を披露



二日市市の教会学校の子どもたちが各々の思いで集まり発表した。

教会で行った「平和って何?」のアンケート結果を発表した子ども達。フィリピン人の「ハウス・オブ・ジョイ」のことをDVDで見て、自分達に出来る支援

を行い活動しているところ。実際に子どもたちがタイに行って一週間タイの子どもたちと共に遊んだり、ホームステイで生活を共にしたりしながら交流を深めている様子を写真で紹介した子どもたちは、現在も空カンを集めてお金にかえ支援を続けている事。アーメンハレルヤの歌を手話をまじえて歌い会場の皆と一緒に手話を習って大合唱。朗読劇を通して平和の大切さを発表したところ、また7月のキャンプで平和学習をした様子を写真と共に紹介したところなど、それぞれに工夫した平和の学習が

8月6日〜15日の10日間を日本のカトリック教会は「日本カトリック平和旬間」としている。福岡地区信徒協ではこの間、特に平和の大切さを考え、祈る為に集いを主催している。今年は、8日(日)初めて教会学校の子どもたちによる「平和を祈る集い」を大名町教会で開催した。

福岡地区の6小教区(大名町、西新、大楠、高宮、古賀、

【信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです。】



(ヘブライ人への手紙 11・1)

聖書を探訪すると、私を生かすいのちと出会う。神は人の霊に、み言葉を委ねられた。私は日々、自分の信仰の愚かさ、かき付かされる。み言葉

見られた。

子どもたちの発表は、各々の子どもたちに「平和って何?」「自分出来る平和は」と考える良い機会となった。

また、大名町教会信徒の村中和子さん85歳が戦争、終戦と苦しい時代の体験を描い

小倉教会に集まって平和を多面から学習



足元からでした。

オープンング前にアウシュビッツを題材とした写真展とお話から始まり

はじめに中村彰神父(戸畑教会主任司祭)の挨拶、平和の灯の祭壇への奉納などが行われ、子どもたちによる各教会学校の様々な、私たちにできること」の取り組みの報告が一部の前半で行われました。

その後、プロテストントの牧師によるホームレス支援機構の活動の紹介のお話し、「九条を守る会」のメンバーによる寸劇と続き、

小倉教会で行われた北九州地区の平和の集いの今年のテーマは「いまわたしたちができること 築こう平和を

彼らは、いい子になることを親が望んでいると知っている。これは、まさに信仰のひな型であるように思う。お前は「望まれている事柄を確信しているか?」と自問し、曖昧な信仰に戸惑いながら思いを深める時、私の初めが神の思惟のうちにあり、主が、私をこの世に必要とされ、私のために父母を選び、父母の愛の中に私を宿されたことを確信する。それ故、私は主によって生きる力と豊かさを覚え、外圧を恐れない気力がわく。

朝、座ると右の耳元で「一緒にいるよ!」とささやく声をきく。呼吸が静まると「あなたと同じ呼吸をしたい」と、主が望んでおられることを意識する。呼吸を整え、主と一

た絵とお話を映像で観賞。村中さんは最後に「自分のまわりの困っている人に、優しくしてあげること、とおっしゃる神様の願いを實行して、平和な世界を創る努力をしてください、と訴えるように語った。

続いて第2部「平和祈願ミサ」が外国籍信徒も交えて捧げられた。

行橋教会信徒
パウロ・追立季治

最後に広島教区「平和の使徒推進本部のSr山本紀久代(援助修道会)の、「私たちにできること」をテーマにしたお話しがありました。

後半は、Sr山本のリードする歌からはじまり、子どもたちの平和祈願ロウソクや折り鶴、寄せ書きなどの奉納のあと、地区13教会の子どもたちによる平和のための共同祈願が行われました。

Sr山本が歌の後に、8月2日に中国新聞に書かれていた

熊本地区はサマーキャンプで平和理解

8月13日(金)から15日(日)の2泊3日、豊野少年自然の家(熊本県宇城市)で行われた、熊本地区教会のサマーキャンプに参加しました。2年に1度のキャンプで大人17人、子ども32人の総勢49人が参加したとても楽しい3日間でした。

1日目は、平和を理解するために戦争や貧困問題について講話を聞きました。戦争や貧困というものは、私たちの生活からは程遠いものだと思えがちですが、今も世界のあちこちで苦しんでいる人がたくさんいることを学び、「戦争ほど人権を踏みしめる行為

記事に「アメリカで、『広島の声は届いていますか』と尋ねた人に、『日本政府にこそ届けて』と法律の専門家に切り替えされた」という記事をみて、広島・長崎といった被爆国である日本国民として、私たちこそ「核はいらない」と言うはつきりとした意思表示をすることが望まれると考えます、と言われたことが強く印象に残りました。

集いの最後に、山元眞神父(小倉教会主任)は、『日本カトリック平和旬間』のはじまりに触れながら「広島に原子爆弾がおとされた後、小倉に落とされるはずだった。広島と長崎の間に小倉が入る。」と、小倉の地で平和を求める集い、祈りが行われることの意味深さを話し、小倉教会に集まった500人以上の人たちと全小教区の司祭は、二度と原爆の悲劇が起こらないように、子どもたちの奉獻と共同祈願に心を合わせ、平和への決意を新たにしました。

誇りに思いました。また、他の人たちと共に過ごして、神様に結ばれていることを感じました。

久留米では、被爆体験者の話を聴いた

ちよと息



一息

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

神の前で生と死を考える集い

◆参加者を募集中

日時: 12月11日(土) 17時〜12日(日) 15時 (指導: 来住英俊神父)

内容: 教会の秘蹟(特に病者の塗油) 自死の問題

費用: ①全日程(宿泊) 1万円/②全日程(宿泊なし) 6千円

③11日のみ(夕食付き) 4千円/④12日のみ(昼食付き)

カトリック福岡黙想の家

カトリック御受難修道会・宗像修道院

811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385

インターネットで検索

福岡黙想の家

検索



ミサ用ワイン



ヴィノ デ ミサ
VINO DE MISA

スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは

有限会社 大楠酒店

ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目1-5

夏休み 暑かったけど 熱くがんばった子どもたち！

教区夏期召命学校 新田原で！



8月24日から3日間、福岡教区夏期召命学校（担当Ⅱ浦川務神父）が新田原教会にて行われました。今回は小中学生の男子15人が各地区から集合。

今年のテーマは、「イエス様と僕たちのすころく」ということで、まず聖書学習を通してイエス様の生涯の歩み

を学び、その後、自分たちの生涯で起きた印象的な出来事を分かち合い、最後にそれをまとめてすころくを作りました。

3つの班がそれぞれ個性的なすころくを完成させ、イエス様と自分たちの歩みをすころくの上で一つの道にすること、イエス様のことをより身近に感じることができたのではないかと思います。

神学院で 司祭召命黙想会

9月4日（土）午後3時より翌5日（日）午後3時まで



での日程で司祭召命を考える青年を対象とした黙想会が日本カトリック神学院福岡キャンパスにて行われた。残暑が残る日時ではあったが、3人の青年がこの黙想会に参加した。

黙想会においては、大学時代に受洗したという井手公平神父（門司教会主任司祭）が講話の一部を担当。井手神父は、かつて「司祭になつたらどうですか」とある修道者から声をかけられ、この言葉が次第に心の中で大きくなり、この声に押されて神学校の門を叩いたと、自身のこれまで

なぜミサを捧げ、ミサに与かるのか

熊本地区神学講座



7月18日、ミサをテーマにした神学講座は、櫻井尚明神父を講師に迎え三回目に入った。初回、白浜師はミサの全体像を示し、イエスの生涯がいく層にも重なるミサの構造を説いた。二回目の晴佐久師は、神の愛を目に見える姿で現すために遣わされたイエス

が「愛しているよ、皆さんいらつしやい」と人々を招く場としてミサを紹介。今回櫻井師は、贖いの恵みについて、随所で聖書を聞き重厚な言葉で語り、いかにも神学講座らしい雰囲気の中で受講者を包んだ。

「私たちはなぜミサを捧げ、ミサに与かるのか。ミサを生活の中にどう反映させ、何をもちたすのか。（私たちが何気なく使った）恵み、救いとは何を意味するのか。そうしたことが曖昧なままでは、キリストのメッセージを伝えるのは難しい」櫻井師はまずそう言いつつ注意を喚起。贖いの業に示されるイエスの愛を、いろいろな視点から説き、この

の歩みを語った。参加者は井手神父の具体的な話にそれぞれの今が重なったのか、引き込まれるようにその話に聞き入っていた。これまでの歩みも、現在の生活のあり方も異なる青年の集まりではあったが、心の中に響く神様の招きを真剣に受け止め答えようとする姿には希望の光を見たような気がした。

佐賀地区では 親子のふれあい



8月29日（日）の正午から午後5時まで、佐賀地区信徒使徒職協議会主催の「親子ふれあいの集い」が佐賀教会で開かれ、唐津、鳥栖、呼子教会などから120人を超える親子連れが参加した。ミサの時には、各教会で待

者をしていく子どもたちが祭壇に上り、手をつないで主の祈りを唱えたり、「主の平和」と言いながら握手したりしていつもと違うミサを体験できた。ある中学生の女の子は「ミサで聖書朗読したときに、隣の子と友だちになりました。手を握りあつて、主の祈りをしたりするの、佐賀県の教会のお友だちと仲よくなったと思います」と感想を語ってくれた。

出ず状況だったが、そんな大人たちを尻目に子どもたちは元気に楽しんでた。周りで見ている大人たちは世間を騒がしている熱中症で子どもが倒れないかとひやひやだつたが、幸いにも杞憂に終わり一安心していた。

前日からテントをはつたり、掲示板を作つたりとスタツフは大汗で大奮闘。特に今回はミサの準備やレクの進行などを佐賀地区の青年会のメンバーが引き受けてくれ、例年になくスムーズにスケジュールが進んだことにみな感謝していた。暑い中みんながそれぞれの場で努力している姿に、また来年も「親子ふれあいの集い」を開こうという力も感じた。ミサでギターを弾いていた青年、レクの時にマイクを持って進行役を務めていた青年、各班のリーダーを務めていた青年たちを見てみると、これからもつとつと教会の行事にかかわつてもらつて、子どもたちを引っ張つて行つてもらいたいと感じた。

2011年 WYD マドリード大会の案内

郡山担当司教メッセージ：
* 1986年に始まったワールドユースデーは、来年2011年8月16日～21日の予定でスペインのマドリードで開催されます。テーマはコロサイ人への手紙2章から「キリストに根ざして生きる」となっています。
* この集いは単なるイベントではなく『信仰の旅』という性格を持っています。参加者はキリストへの信仰を深めようとする巡礼者として参加することになります。そのため、募集期間中に参加後にカテケジスがなされます。今回は、各教区が独自のプログラムにしたがったカテケジスが実施されることとなります。
* 今回の特徴はAコースが4泊5日のサンチャゴ・デ・コンポステーラの巡礼が組まれています。
福岡教区参加者募集：
Aコース＝8月7日（日）～23日（火）：現地集合／現地解散
Bコース＝8月15日（月）～24日（水）：一緒に出発・帰国
参加資格：18歳（高校生は除く）～35歳
参加費概算：Aコース 8万円（航空券は別）
Bコース 24万円（航空券を含む）
申込・問合せ先：中村彰神父（福岡教区 WYD 担当司祭）
☎093・871・3019（カトリック戸畑教会）

第63回 福岡市民クリスマス

日時：2010年12月3日（金）18:30～20:30
場所：福岡市民会館大ホール
プログラム
第1部：ハレルヤコーラス
第2部：本田路津子コンサート
第3部：クリスマスメッセージ
晴佐久昌英神父
（多摩川教会主任司祭）
問合せ：福岡市民クリスマス事務局 Tel/Fax:092・871・2505 羽深
* コーラスメンバーに多くの方の参加をお待ちしています。連絡は事務局に。

ハレルヤコーラスメンバー募集中
練習場所：福岡中部教会（福岡市中央区）
練習日：
① 10月 3日（日）15:00～18:00
② 10月 16日（土）14:00～17:00
③ 11月 6日（土）14:00～17:00
④ 11月 21日（日）15:00～18:00
⑤ 11月 28日（日）15:00～18:00
講習会費：1500円（楽譜含む）

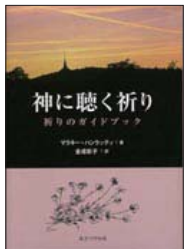
☆「家庭の友」 生誕百年「マザーテレサ」



今年「マザーテレサ」の生誕100年です。28年前福岡にも来られた「マザーテレサ」について二ヶ月連続で特集を組みました。8月号はイエス会の片柳弘史神父と「アグネス・チャンとの対談」など、9月号はマザーテレサについて片柳神父のレポートが中心です。「家庭の友」はサンパウロ発行の月刊誌です。

サンパウロ発行 税込定価 300円

☆神に聴く祈り 祈りのガイドブック マラキー・ハンラッティ著 金成 章子 訳



神が絶えず私たち一人ひとりに与えてくださった「良かつたこと」に、毎日の生活の中で気づくやさしい祈り方を、長年の実践をもとにまとめたもの。良かつたことに気づくことで、神の深い愛に感謝と喜びがわいてくる。個人で、グループでする祈りが、具体的にわかりやすく紹介されている。もつとよく祈りたい人に役立つ、やさしい祈りの手引き。
女子パウロ会 発行 税込定価 1260円

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
（株）ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表：エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール FUKUOKA
キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時～PM 5時40分
日・祝日/AM 11時～PM 4時（水曜日定休日）
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL: http://www.pauline.or.jp

司祭召命の育成！

カトリック教会のカテキズム

日時：2010年10月31日（日）15：00
場所：カテドラル大名町教会
講師：櫻井尚明神父（大名町教会主任）
資料：カトリック教会のカテキズム

熊本地区 第5回 神学講座開講のお知らせ

【日時】10月17日（日）13時半～16時半
【内容・講師】祈り・絆の回復 古巣 馨 神父
【会場】カトリック手取教会
【受講料】各回1000円（通年5000円）
【問合せ先】☎096-352-3030（手取教会 岸）

聖骸布 写真展

日程：2010年10月24日（日）～27日（水）
時間：9:00～19:30（随時閲覧自由）
会場：カトリック大名町教会
解説：ガエタノ・コンプリ神父（サレジオ会司祭）
入場：無料・自由献金
テープカット：24日（日）9:00
*コンプリ神父による聖骸布についての講演
・24日（日）11:00 および16:00
・25日（火）10:30 および18:00
・26日（火）14:00 および18:00
・27日（水）10:00 および14:00（17:00 閉会）
*コンプリ神父 URL <http://www.v-cimatti.com/>

Fondacio 講演会 明日の教会に気づく！

日時 2010年11月28日（日）14：00～17：00
場所 福岡カテドラル・大名町教会 一階ホール
主催 福岡地区信徒使徒職協議会
講演会タイトル
「明日をつくる教会～信徒使徒職と信徒の養成～」
内容及び講師
アジア信徒会議の報告 平尾 千衣子
信徒の養成とは フランソワ・プルトー
アジアにおける信徒養成の現状とビジョン
チャールズ・バーチル

Fondacio（フォンダシオ）とは、教皇庁認可の信徒共同体で、1974年にフランスで創立されました。
特に青年の養成に力を入れ、全世界4か所に養成センターを置いており、アジアの養成センター（フィリピン）は2006年に開設されました。アジアの教会・社会での、信仰の基盤とリーダーシップを身につけたリーダーの養成を目的とし、1年のプログラムを提供。現在までにアジア各国から来た若者たち約65名を養成。彼らは、それぞれの国の教会・社会でミッションをしていますが、今回はその養成スタッフの講演会です。

釜山女性グレゴリオ聖歌隊演奏会

【テーマ】聖母マリア様にささげる祈り
【日時】10月9日（土）19時のミサ
グレゴリオ聖歌ミサ
ミサの後、演奏会
【場所】カテドラル大名町教会大聖堂
【演奏】釜山（プサン）女性グレゴリオ聖歌隊
【指揮】クララ チェ ユジョン
【オルガン】アンゼラ ジョン ヒョンジュ
【主式】パオロ イム ソクス（林 碩洙）神父
【主催】釜山カトリック音楽教育院
【後援】カトリック釜山教区／カトリック福岡教区

大名町教会での許しの秘蹟：10月16日・11月6日

福岡教区広報室アドレス
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

10月のこよみ

案内板

会合と催し

ロザリオの月

福岡黙想の家ご案内 10月

2日（土）～3日（日）聖マリア在俗会 黙想会
5日（火）～8日（金）長崎純心聖母会 祈り会
9日（土）～11日（月）産業医科大学セミナー
10日（日）水巻教会 黙想の家で祈り語り合う集い
11日（月）～15日（金）福岡教区邦人司祭黙想会
16日（土）福岡チェナクルム
23日（日）～24日（日）福岡雙葉学園 職員宗教研修会
24日（日）～30日（土）サレジオ会黙想会
25日（月）～26日（日）山口島根地区信者養成研修会
30日（土）～31日（日）APJ研修会
11月
2日（火）～3日（水）九州アシュラム
3日（水）～5日（金）防府教会婦人部
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 ☎0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 **福岡黙想の家** **検索**

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：教父に祈りを学ぶ
・日時：10月14日（木）10時～14時半
・内容：聖ベネデクト
・指導者：フランコ神父
指導：フランコ・ソットコロノラ神父（真命山院長）
ダニエレ サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョウルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
☎0968・85・3100 ☎0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

【日時】10月23日（土）13時30分
【場所】カトリック西新教会
【問合せ先】☎080・

ザビエル合唱団

【日時】10月19日（火）11時（場所）聖クララ寮（福岡市南区）
【内容】聖体賛歌（問合せ先）☎096・380・5686

グレゴリオ聖歌を歌う会

【日時】10月17日（日）14時から（場所）サンパウロ宣教センター（内容）信仰を生きる・祈りの聖時間（対象）40歳位までの独身女性（企画）鈴木美子（参加費）300円（問合せ先）☎092・715・3606 鈴木

第12回信徒の霊性と召命を

【日時】10月17日（日）14時から（場所）サンパウロ宣教センター（内容）信仰を生きる・祈りの聖時間（対象）40歳位までの独身女性（企画）鈴木美子（参加費）300円（問合せ先）☎092・715・3606 鈴木

第12回信徒の霊性と召命を

【日時】10月17日（日）14時から（場所）サンパウロ宣教センター（内容）信仰を生きる・祈りの聖時間（対象）40歳位までの独身女性（企画）鈴木美子（参加費）300円（問合せ先）☎092・715・3606 鈴木

第12回信徒の霊性と召命を

【日時】10月17日（日）14時から（場所）サンパウロ宣教センター（内容）信仰を生きる・祈りの聖時間（対象）40歳位までの独身女性（企画）鈴木美子（参加費）300円（問合せ先）☎092・715・3606 鈴木

第12回信徒の霊性と召命を

【日時】10月17日（日）14時から（場所）サンパウロ宣教センター（内容）信仰を生きる・祈りの聖時間（対象）40歳位までの独身女性（企画）鈴木美子（参加費）300円（問合せ先）☎092・715・3606 鈴木

第12回信徒の霊性と召命を

【日時】10月17日（日）14時から（場所）サンパウロ宣教センター（内容）信仰を生きる・祈りの聖時間（対象）40歳位までの独身女性（企画）鈴木美子（参加費）300円（問合せ先）☎092・715・3606 鈴木

第12回信徒の霊性と召命を

【日時】10月17日（日）14時から（場所）サンパウロ宣教センター（内容）信仰を生きる・祈りの聖時間（対象）40歳位までの独身女性（企画）鈴木美子（参加費）300円（問合せ先）☎092・715・3606 鈴木

福岡

【日時】10月22日（金）13時半から15時（場所）カトリック小倉教会信徒会館2階（指導）ガブリエル神父（御受難修道

小倉祈りの集い

【日時】10月22日（金）13時半から15時（場所）カトリック小倉教会信徒会館2階（指導）ガブリエル神父（御受難修道

小倉祈りの集い

【日時】10月22日（金）13時半から15時（場所）カトリック小倉教会信徒会館2階（指導）ガブリエル神父（御受難修道

小倉祈りの集い

【日時】10月22日（金）13時半から15時（場所）カトリック小倉教会信徒会館2階（指導）ガブリエル神父（御受難修道

小倉祈りの集い

【日時】10月22日（金）13時半から15時（場所）カトリック小倉教会信徒会館2階（指導）ガブリエル神父（御受難修道

小倉祈りの集い

【日時】10月22日（金）13時半から15時（場所）カトリック小倉教会信徒会館2階（指導）ガブリエル神父（御受難修道

小倉祈りの集い

【日時】10月22日（金）13時半から15時（場所）カトリック小倉教会信徒会館2階（指導）ガブリエル神父（御受難修道

小倉祈りの集い

【日時】10月22日（金）13時半から15時（場所）カトリック小倉教会信徒会館2階（指導）ガブリエル神父（御受難修道

小倉祈りの集い

【日時】10月22日（金）13時半から15時（場所）カトリック小倉教会信徒会館2階（指導）ガブリエル神父（御受難修道

小倉祈りの集い

【日時】10月22日（金）13時半から15時（場所）カトリック小倉教会信徒会館2階（指導）ガブリエル神父（御受難修道

小倉祈りの集い

【日時】10月22日（金）13時半から15時（場所）カトリック小倉教会信徒会館2階（指導）ガブリエル神父（御受難修道

小倉祈りの集い

【日時】10月22日（金）13時半から15時（場所）カトリック小倉教会信徒会館2階（指導）ガブリエル神父（御受難修道

北九州

熊本

【日時】10月4日（土）10時半～12時（場所）佐賀カトリック会館（内容）ミサと祈り（次回）11月6日（土）（問合せ先）☎0952・30・8347 吉武

佐賀

【日時】10月4日（土）10時半～12時（場所）佐賀カトリック会館（内容）ミサと祈り（次回）11月6日（土）（問合せ先）☎0952・30・8347 吉武

佐賀

【日時】10月4日（土）10時半～12時（場所）佐賀カトリック会館（内容）ミサと祈り（次回）11月6日（土）（問合せ先）☎0952・30・8347 吉武

佐賀

【日時】10月4日（土）10時半～12時（場所）佐賀カトリック会館（内容）ミサと祈り（次回）11月6日（土）（問合せ先）☎0952・30・8347 吉武

佐賀

【日時】10月4日（土）10時半～12時（場所）佐賀カトリック会館（内容）ミサと祈り（次回）11月6日（土）（問合せ先）☎0952・30・8347 吉武

佐賀

【日時】10月4日（土）10時半～12時（場所）佐賀カトリック会館（内容）ミサと祈り（次回）11月6日（土）（問合せ先）☎0952・30・8347 吉武

佐賀

【日時】10月4日（土）10時半～12時（場所）佐賀カトリック会館（内容）ミサと祈り（次回）11月6日（土）（問合せ先）☎0952・30・8347 吉武

佐賀

【日時】10月4日（土）10時半～12時（場所）佐賀カトリック会館（内容）ミサと祈り（次回）11月6日（土）（問合せ先）☎0952・30・8347 吉武

佐賀

【日時】10月4日（土）10時半～12時（場所）佐賀カトリック会館（内容）ミサと祈り（次回）11月6日（土）（問合せ先）☎0952・30・8347 吉武

佐賀

【日時】10月4日（土）10時半～12時（場所）佐賀カトリック会館（内容）ミサと祈り（次回）11月6日（土）（問合せ先）☎0952・30・8347 吉武

佐賀

【日時】10月4日（土）10時半～12時（場所）佐賀カトリック会館（内容）ミサと祈り（次回）11月6日（土）（問合せ先）☎0952・30・8347 吉武

佐賀

【日時】10月4日（土）10時半～12時（場所）佐賀カトリック会館（内容）ミサと祈り（次回）11月6日（土）（問合せ先）☎0952・30・8347 吉武

2010年度難民移住移動者委員会 長崎教会管区セミナー

テーマ：
結婚、家族、子どもの育児と教育
神の祝福とそれに応える姿勢

期日：2010年11月23日（火）
時間：9:00～16:00
場所：長崎カトリックセンター
主催：日本カトリック難民移住移動者委員会
連絡先：K. マルセル神父（092-431-1419）

Catholic Commission of Japan for Migrants, Refugees and People on the Move
NAGASAKI CHURCH DISTRICT SEMINAR 2010

Marriage, Family and Children:
Blessings and Challenges

Date: November 23, 2010 (Tuesday)
Time: 9:00 ~ 16:00
Place: NAGASAKI Catholic Center
For information
Fr. Marcel Kauss (092-431-1419)

編集後記

今夏は、本当に厳しい暑が続きました。しかし、自然界は確実に秋の訪れを告げています。10月号をお届けします。9月号が休刊でしたので、夏の行事等盛りだくさんの記事を書いていただきました。点、どうぞご容赦ください。厳しい暑さの中、各地で行われたイベント、行事の内容を拝見していると、とてもホットな気持ちになりました。教会は、元気に動いていて、そんな紙面になるよう努力していきます。

旧鹿児島ザビエル聖堂再生支援チャリティーオルガンコンサート
日時：2010年10月15日19時
場所：ホテル日航福岡 新館3階
チケット：3000円
販売：ザビエル合唱団
カトリック西新教会
主催：新垣壬敏・ザビエル合唱団
協賛：ホテル日航福岡
問合せ先：08052468395 橋本

Sr竹内

【日時】11月14日（日）14時30分（場所）聖心病院（問合せ先）☎096・352・7181

Sr竹内

【日時】11月14日（日）14時30分（場所）聖心病院（問合せ先）☎096・352・7181

Sr竹内

【日時】11月14日（日）14時30分（場所）聖心病院（問合せ先）☎096・352・7181

Sr竹内

【日時】11月14日（日）14時30分（場所）聖心病院（問合せ先）☎096・352・7181

Sr竹内

【日時】11月14日（日）14時30分（場所）聖心病院（問合せ先）☎096・352・7181

Sr竹内

【日時】11月14日（日）14時30分（場所）聖心病院（問合せ先）☎096・352・7181

Sr竹内

【日時】11月14日（日）14時30分（場所）聖心病院（問合せ先）☎096・352・7181

Sr竹内

【日時】11月14日（日）14時30分（場所）聖心病院（問合せ先）☎096・352・7181

Sr竹内

【日時】11月14日（日）14時30分（場所）聖心病院（問合せ先）☎096・352・7181

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具 **コスモス**

〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院

医科・歯科臨床研修指定病院 総合周産期医療センター
地域医療支援病院 がん診療連携拠点病院
救命救急センター 地域災害拠点病院
*入院基本料（一般病棟7:1）
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322（代表）
FAX0942-34-3115
<http://www.st-mary-med.or.jp>

一緒に働きませんか？
＝募集＝
医師・看護師・医療技術職

痛みの相談室 いくま整骨院

平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日

福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊公吉



Ave Maria...

喜びの時も
悲しみの時も
ロザリオを
マリアにささげて



メディアによる福音宣教のために...

サンパウロ福岡宣教センター

10：00～18：00（月～土）/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax 739-3930